



## 下から見るか？横からみるか？

おかしな天候が続く中、あっという間に夏休みが終わり、中学生はいきなりの期末テストです。夏期講習の後半はテスト対策もやってきましたが、もう一息直前までできることを続けていきましょう。高校生は文化祭の準備に追われがちですが、地道に学習を続けている姿を見てひと安心です。添削してほしいと持ってきた AO 入試の小論文にも成長を感じます。9/9 の土曜は特に文化祭が集中しますが、今年は千葉女子高のミュージカル部公演が人気になりそうです。V6 出演の特別番組で取り上げられることをあらかじめミュージカル部 OG の卒業生から教えられてセットしておいた録画を見ました。楽しくて感動的についつい引き込まれてしまいました。

さて舞台ではなくスクリーンの話題。今中3生たちの間ではアニメ化された「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」を「見に行くか？行かないか？」論争が起きています。どうやらネットでの評判があまり良くないようです。この原作は24年前の8月末に放映されたテレビドラマで千葉県飯岡町（現在の旭市）が舞台の印象深いものでした。その時私はたまたま見始めて、次第に画面に釘付けになった記憶があります。その後、映画監督になった岩井俊二さんの「ラブレター」や「花とアリス」などの作品が好きになりました。そんなことがあるので私もアニメを見に行くのにはちょっとためらいがあります。ところで、主人公はタイトル通りの素朴な疑問を感じて行動するのですが、そういうことは結構大事です。見方を変えることに柔軟な人とそうでない人の差は成績にも関わってきます。夏期講習の数学で等積変形を復習しましたが、補助線1本を引けるかどうかポイントでした。中3の統一テスト数学の問題でも三角錐の体積を求めてから高さを逆算する問題が出ました。まさに視点を変えて立体をどこから見るかが問われています。でもこれをセンスの問題とあきらめないでください。いかにたくさんの問題に真剣に向き合うかが見方を変える練習になるのですから。そういった取り組みは今からでも決して遅くはないですよ！